

広報 たかのす

平成2年

7月1日

№. 675

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186(62)1111
FAX 0186(63)2586



「こんなに大変とは…」 一人ひとりが認識を持って！」

町婦人学級連絡協議会は6月21日「鷹阿清掃センター」で、ゴミがどのように処理されているか見学しました。一行はゴミの量もさることながら、無差別に混入されている中身を点検する光景に息をのみ、説明に認識を改めたようです。また、収集袋に関心が集まり、一日も早い実用化を望む声が多く出されました。(関連記事2.3面に)

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前月比)
総人口 24,016人	(17人減)
男 11,684人	(増減なし)
女 12,332人	(17人減)
(出生 18人 転入 45人)	
(死亡 18人 転出 62人)	
世帯数 7,330世帯	(9世帯増)

必ず穴をあけて!!

ひとつ間違えれば作業員の生命にかかわります

四月から稼働を開始した圃場阿仁広域清掃センターが大変困っています。—というのは毎日運び込まれる不燃物の中に、中身の入ったスプレー缶、卓上ガスカートリッジなどきわめて危険なものが混入されているからです。このため、センターでは職員のほかに臨時の作業員を雇用し、収集車が運び込んだゴミを広げ、いったん手作業でスプレー類を取り除きながら穴を開けて処理しています。

実はこの作業が大変なのです。不燃物を入れるのは大抵は肥料袋、ビニール袋、ダンボールなど中が見えないため作業員はひとつひとつ点検しなければならず、その袋類をカマで切り裂きながらの作業となり、いつ爆発するかもしれない危険が常につきまといまいます。

一日に運ばれる量は約三〇トン、その量をその日のうちに処理しないと、また翌日にあらたに搬入されるため職



▲ 山のように積まれたゴミ。危険物が混入されていないか、中身をひとつひとつ調べる。なにが入っているかわからない作業だけに大きな危険がともなう作業である

清掃センター パニック状態

スプレー缶は



「可燃」「不燃」
ゴミが分類されていないため「可燃」のだけプ
に分け、さらにリサイクルできるものだけプ
レス機へと選別していく。悪臭、有害ガスな
どとの闘いでもある

員たちは、悪臭のなか汗まみれの作業となります。袋類にはガラス、鉄くず、カミソリなどのほかに発火性、引火性のあるものなどありとあらゆるものが入っており、仕分作業はゴミとの「格闘」そのもの。最近の話では「漬物石」や二重、三重にもくるんだ「家庭用LPGボンベ」まで混入していたとのことでした。

いまセンターでは、圏域に呼びかけ透き通って中身がわかり無公害の収集袋の導入を検討しており、九月にも実施の見込みです。これにより、いちいち開かなくても危険物の混入がわかるため、安全性と経費節減の意味から一日も早い実用化が望まれます。

ますますゴミが多様化すると思われませんが、一人ひとりが『正しいゴミの分け方と出し方を守る』ことで、問題は解決するのです。

きのうは、いそがしいのに
あんないしてくれてありがと
うございました。

一日に三〇トもゴミをもち
したり、アルミの缶を四か
くしたりして、毎日たいへ
んでしょね。ゴミの重さを
しらべたり、クレーンでまぜ
たりしてすごいなあと思いま
した。ゴミがくさいかもしれ
ませんが、みなさんがんばっ
てください。



綴子小3年
柏木友美さん

センターを見学して



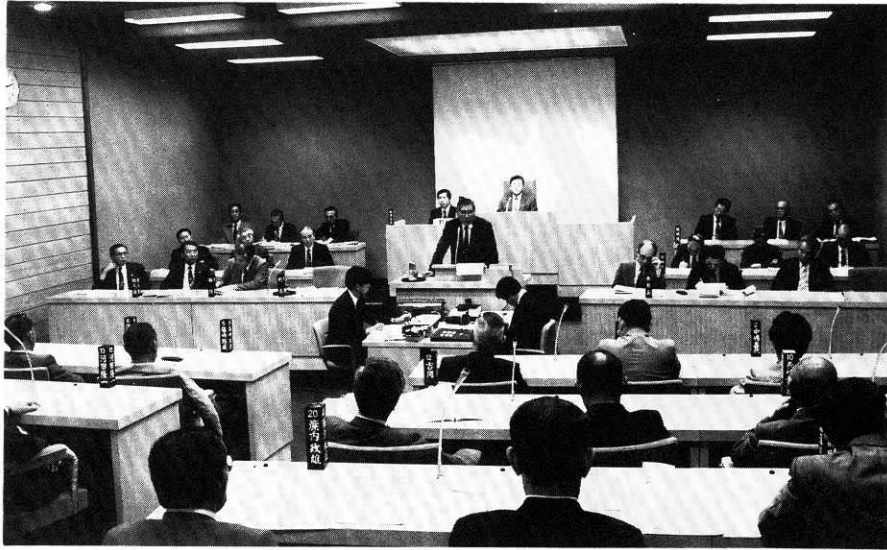
満タンに中身が入っているボンベ
やスプレー類。これらが炉の中で
次々に爆発したら=と思うとゾッ
とする

私たちが何気なく出してい
るゴミが、こんなにも職員の手
をわずらわせているのかと
ビックリしました。ゴミの分
類をしつかりしないとけな
いということが身にしみてわ
かりました。

十七億円もの建設費をかけた最新
のセンターの機能を十分に発揮
させるためにも、一人ひとりが、
ゴミについて理解を深める必要
があります。



婦人学級連絡協議会長
高泉愛さん



議会初日に行政報告をする出川町長

六月定例議会行政報告

会期は十八日から二十七日まで

待望の男子型企業

誘致決定！

〔企画調整課関係〕…空港関係については、四月に県が正式名称を「大館能代空港」と決定したのを受け、空港早期実現への運動が一層活発化してまいりました。当町は秋田市で街頭署名を実施するなど署名者数は八〇、五三八人にのぼり、期成同盟会として署名総数三三八、六四三人の名簿をたずさえ、知事とともに運輸大臣をはじめ関係者に陳情してまいりました。

国の第六次空港整備五カ年計画のヒアリングでは、県の基本計画書ならびに期成同盟会の作成による空港圏域及び周辺開発計画書を資料として提示し、説明を終了しております。現在、県の委託業者による地形補備測量及び環境影響調査のため現地に入っております。

なお、平成三年の年末頃には閣議決定される予定であり、それまで引き続き強力な運動を進めてまいります。また、鷹巣地区協議会では一千万円を目標に募金活動を展開しております。

企業誘致については、男子型企業を中心として誘致に努めており、県とともに進めてきた結果、自動車部品製造の男子型企業が決定し七月上旬に

県と同時発表の予定です。今後は、現在交渉を進めている男子型企業のほか女子の就労にあたって幅広い業種から選択できるよう誘致をはかります。町の総合発展計画の後期五カ年計画が平成三年度より始まることから、その策定に町民の意向を反映させるため無作為抽出によりアンケート調査を実施し、五年先の町の将来を見すえながら明年二月頃に完成の予定であります。

町出身で各界で活躍されている首都圏在住者との懇談会を開催したところ、貴重な意見もあり今後の町行政面で参考にしたとと考えております。

ペンダント方式の

“ホットライン”導入

〔町民課関係〕…春の火災予防運動は、消防団員及び婦人消防隊により有事に備え放水訓練と機械器具の一斉点検を行いました。今春の旭町の昼火事で死者二人が発生し、火災予防活動に一層努めてまいります。

「県民防災の日」を前に役場庁舎をはじめ、各事業所及び公共施設等で防災訓練を実施し、また防災責任者を対象に防災研修会を開催し意識の高揚に努めました。

春の交通安全運動は期間中に関係機関・団体に

よる合同会議を開催し、交通安全の普及啓発に努めるとともに役場構内を会場に交通安全まつりを実施して事故防止を呼びかけました。

老人世帯、独居老人、障害老人等が年々増加する現在、在宅福祉充実の一環としてペンダント方式による緊急通報システムを導入し、一人暮らし老人五世帯を対象に援護を開始しました。

平成二年度において、秋田地方事務局ならびに秋田県人擁護委員連合会から「人権モデル地区」に指定され、基本的人権の尊重と自由人権思想を町民に普及するため「町人権モデル地区推進運営協議会」を設立し、啓発活動を積極的に推進しております。

〔保健課関係〕：春のクリーンアップは道路、河川、側溝の清掃や泥あげなど主に公共用地を対象に実施しました。春季一斉清掃指導は六月中旬以降に宅地建物内外の清掃、生活雑排水処理、畜舎のほか不法投棄箇所等を重点に指導してまい



せっかくのゴミ集積所なのに、中に入れていないため犬に荒され散らかり放題

ます。

本年度の献血事業は、前年度より三四〇本（一本二〇〇ミリリットル）増の一、六五〇本の目標です。また本年度より新たに成分献血が実施されることになり、当町に三二人の目標が示され献血推進協議会はもとより、広く町民にPRしながら目標達成に努めております。

各種検診事業は疾病の早期発見・早期治療を目的に町内医療機関等の協力のもとに、婦人科、胃結核検診などを実施しております。

大太鼓の館に 山林広場を造成

〔農林課関係〕：今年の田植えは、五月二十日がピークとなり昨年同様暖冬少雪により懸念された水不足については、大きな支障もなく順調に成育しております。しかし、田植え期間中は気象変動が大きく、各機関を通しながら適切な用水管理を指導しております。

転作の現地確認は関係機関の協力により実施し第一次の確認は、六月下旬に終了予定であり、今年産米の限度数量個人配分は、七月中旬を予定し現在作業中であります。

第三期山村振興農林漁業対策事業で進めております山村広場施設整備事業は、大太鼓の館の隣接地に六〇坪を予定し、七月上旬に着工予定であり、内容は広場整備、広場施設、建物施設等で、農業者の健康増進などをはかるため多目的な広場を計画中であります。

北鹿畜産基地建設事業は、今年で全事業が完了となり最終の当町関係は中小又地内に共同放牧場を造成し、放牧は明年五月頃になりますので和牛組合、農協、関係農業団体と協議中であります。

内水面漁業振興については、県内外の釣人誘客の一環として町内の主要河川に稚アユ十三万尾を放流しました。また、昨年に引き続き当町地内の米代川を会場に「第三回全日本レディス・アユつり大会」ならびに「90 ヨネシロカップ 鮎釣選手権大会」を八月上旬に開催する予定となっております。

綴子・栄・七日市の三農協は、四月一日付で合併し「新たかのす農業協同組合」として発足。正組合員戸数一、四一三戸、組合員数一、七五六人となっております。



今年は田植後も好天が続き、現在のところ生育は順調。七日市本郷吉田武さんは、6月2日に昔ながらの苗取りをしました。

〔商工課関係〕：「第三九回中央公園桜まつり」は、新たにミニ花火大会も加わりにぎわいを見せました。六月一日には、比内町と合同で竜ヶ森山開きと、自然観察会が行われ夏山登山の安全祈願

と森林がもつ森林浴等、多目的機能を深めることができました。



第6回ふるさと踊りと餅つこ祭りは、多彩な催して町中が大にぎわいとなった

「第六回ふるさと踊りと餅つこ祭り」は、踊りのパレード、餅つこ市、太鼓フェスティバルなどで一日中にぎわいをみせました。

湯ノ倍温泉の元年度の利用状況は、操業日数二九二日で利用者三九、九四九人と一日平均一三七人となっております。

中小企業振興資金制度（マル鷹融資）の平成元年度の利用状況は五四件、二億八九〇万円。利用残高一六〇件、四億一三三万円となり預託額に対し四倍の利用額となっております。

出稼ぎ互助会の元年度の加入者は三六三人で、前年より一九人減となっております。

〔建設課関係〕：五月末現在における工事発注件数は道路維持一〇件、改良四件で七八、二〇〇千円となっております。

今年の融雪による河川の被害箇所は九件で、一億二千二百万円となっております。六月下旬から八月下旬に査定を受けることになっております。

県事業の「北欧の杜公園」については、町都市計画審議会にはかり答申を得ており、二週間の告示縦覧に供し、六月末の県審議会において決定する予定であります。

〔水道課関係〕：上水道事業の元年度決算において純利益二五、三〇一千元をあげ、未処分利益剰余金二五、三三二千元であります。また、加入状況は前年度比一二三件増の三、四〇七件、給水量は二八、五五二立方増の九六九、一七二立方であり、経営は順調に推移しております。

「ラジオ体操一〇〇日運動」がスタート

〔教育委員会関係〕：教職員の移動で大幅な入れ替えがありました。が、学校長を中心に前進的な体制づくりに努め学校運営にあたっております。

春季の各校運動会と町内小学校五、六年生全員参加による交歓陸上競技大会も無事終了しました。また、修学旅行や社会見学も終り、学習面はもとより各種大会をめざして小、中学校ともに練習に励んでおります。

社会教育関係では、発育途上にある児童の望ましいスポーツ活動の推進をはかるためPTA、スポーツ少年団等の関係者による「子供のスポーツを考えるつどい」を開催しました。また、世代の交流を望み規則正しい生活習慣を身につけさせ、青少年の健全育成をはかるため六月一日から「ラ

ジオ体操一〇〇日運動」を開始しました。

「たかのす風土館」は二月に工事発注、建設本体工事は五月末現在で二四割の進捗率となっております。

〔広域圏組合関係〕：広域ごみ処理施設が三月末で完成し、鷹巣阿仁広域清掃センターとして四月から本稼動に入り、稼動後は施設の維持管理上、ごみの分別収集が課題となっており、特に収集業ならびに従業職員の安全衛生面からもスプレー、ガスボンベの爆発危険物等の出し方を含め、圏域住民に対する周知徹底に努めてまいります。

鷹巣競技場が、第二種公認の更新年にあたることから、全天候の材質をこれまでのレズライトからスーパーストーンに変え、七月末の完成を目指して貼り付け作業を行っております。



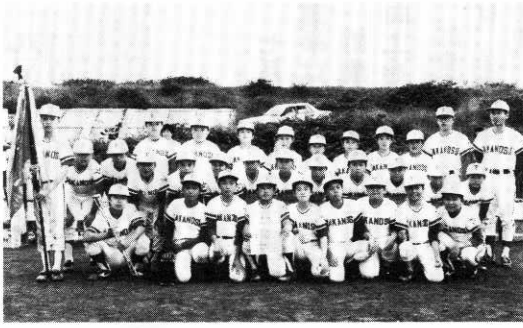
弾力に富み、足への負担が少ない「スーパーストーン」は、県内初です

第十九回町内小学校野球大会 第三十一回町内小学校バレーボール大会

「白球に力を合せて深めよう友情を」

鷹巣二年ぶり九 度目の優勝

野球大会は六月十四日に実力伯仲の六校が参加し、鷹巣中野球場で一回戦と準決勝が、また、決勝は雨のため二十日に延期されて米代川河川敷公園で行われ、どの試合もスタンドはつめかけた応援団で満員となりました。



決勝は、鷹巣と中央の対戦となりましたが投打にまさる鷹巣が優勝しました。

〔一回戦〕 ▽中央 7―3

▽鷹巣 5―1 南

〔準決勝〕 ▽中央 13―9

綴子 ▽鷹巣 7―2 東

〔三位決定戦〕 ▽東 10―2

綴子 (六回コールド)

〔決勝〕

中央 0 1 0 0 0 0 3 4

鷹巣 0 0 0 6 0 0 × 6

バレーも鷹巣が 六度目の「V」

バレーボールは六月十四日に鷹巣体育館で行われ、予選リーグのあと決勝トーナメントがあり東、綴子、中央、鷹巣の四校が進出しました。

決勝は「アタックの鷹巣」

と「レシーブの中央」との対戦となりましたが、長身を生かした攻撃を得意とする鷹巣が二セットを連取しゲームセット。結果は次のとおりです。

〔予選リーグ〕 ■コート

▽中央 2―1 南 ▽中央 2

1 東 ▽東 2―0 南 ■B

コート ▽鷹巣 2―1 綴子

▽鷹巣 2―0 西 ▽綴子 2―1

西

〔決勝トーナメント〕 ▽

中央 2―0 綴子 ▽鷹巣 2―1

東

〔決勝〕

鷹巣 2 15―1

15―13 0 中央



■1日(金) 高校総体陸上競技開会式が、大館市長根山競技場で行われ出席し、あいさつを述べた。

■3日(日) 「ふるさと踊りと餅つこまつり」が好天のもと、華華しく開催された。餅の販売や太鼓フェスティバル、ふるさと踊り、ミス大太鼓のパレード等、また今年から新しく企画された、餅引きのばし大会は大好評。にぎやかなイベントに大勢の町民達が訪れ大

町村を代表し出席した。

■10日(日) 仲町町内会「町長と語る会」に出席、町内の諸要望等で意見の交換を行った。

■11日(月) 社団法人・雪センター設立披露パーティが東京都で開かれ、県内

開始式で「母校の名譽をかけ、健闘されることを祈る」と歓迎のあいさつを述べ激励した。また、この日大館能代空港建設促進期成同盟会総会に出席した。

■12日(火) 国保運営委員会は平成元年度の国保特別会計の決算見込みと、平成二年度の国保税の条例改正等の協議を行った。

■14日(土) 大館能代空港鷹巣地区協議会役員会。また、この日鷹巣町防犯協会総会を開催した。

■15日(金) 秋田県成人病医療センター理事会に出席。決算及予算を審議した。

太鼓の町にふさわしい一日であった。

■6日(水) 秋田市で開催の、各郡の町村会長会議及び、県町村会総務委員会に出席した。

■8日(金) 県町村会建設委員会及び、大館北秋公共事業促進協議会に出席した。

■9日(土) 秋田県高等学校総合体育大会バレーボール大会が、九日から十二日まで鷹巣体育館で行われた。



町長 日記
出川 禮

6月1日～15日

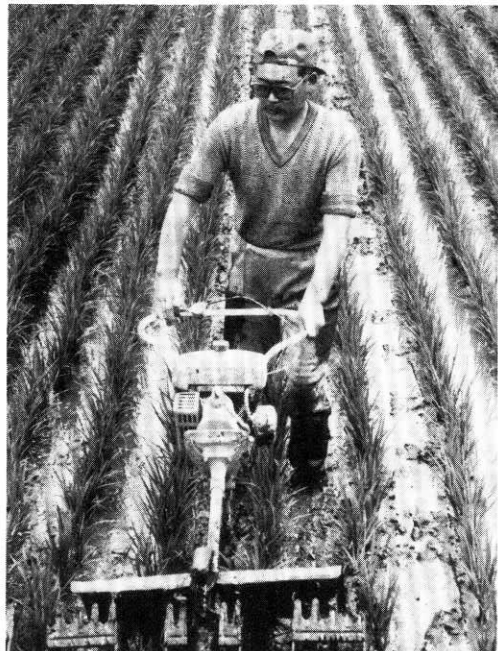
投票日は七月十五日(日)

町農業委員会委員一般選挙

七月十九日で任期満了となる町農業委員会委員一般選挙は、七月十日に告示され投票日は七月十五日です。町農業委員の一般選挙は、農業の発展と農家経済の向上を図るため、見識豊かな人を選ぶものです。

町農業委員会委員一般選挙は、公職選挙法に基づく選挙です。

この選挙は、選挙当日に次の要件を満たし、選挙人名簿に登録されている人に選挙権があります。▽農業委員会の区域内に住所を有し、選挙人



農業委員は「汗して働く農家」の代表者

ただし、禁治産者など公職選挙法による欠格者、選挙人名簿確定後に死亡や転出、農地を失った場合は選挙の資格はありません。

投票入場券は：

町選挙管理委員会では、この選挙の入場券をそれぞれの家庭に七月十日前後に郵送します。もし、配付もれがありましたら選挙管理委員会にご連絡ください。

不在者投票は：

不在者投票は、投票日の七月十五日に仕事や用事のため投票場に行けない人のために設けられているものです。町不在者投票を行う人は、町

選挙管理委員会に対して、直接または郵便で請求（指定病院に入院の人は病院長に請求）してください。

なお、不在者投票の期間は選挙が告示される七月十日から投票日前日の七月十四日までの午前八時三十分から午後五時までです。

五投票区が二時間短縮

十五日の投票日は、午前七時から午後六時まで投票が行われますが、つぎの五投票区は二時間繰りあげられ午後四時までです。

- ▽緑ヶ丘投票区
- ▽黒沢投票区
- ▽坊山投票区
- ▽竜森投票区
- ▽葛黒投票区

選挙についての問い合わせは ☎六二一一一一内線二九一へ。

農業委員会委員選挙人登録者数と選挙区

平成2年3月31日現在

選挙区(定数)	投票区	投票所	男	女	計
第一(2人)	鷹巣太田	鷹巣町役場	429	517	946
		栄生活改善センター	211	247	458
		太田児童館	173	183	356
	計		813	947	1,760
第二(2人)	坊山川口	坊山部落会館	74	79	153
		沢口林業センター	493	541	1,034
		川口部落会館	162	170	332
	計		729	790	1,519
第三(3人)	綴子糠沢	綴子基幹集落センター	758	809	1,567
		糠沢部落会館	312	345	657
		計	1,070	1,154	2,224
第四(2人)	七日市葛竜	七日市基幹集落センター	429	446	875
		葛黒林業センター	117	122	239
		三ノ渡児童館	122	119	241
	計		668	687	1,355
第五(3人)	坊沢前山	坊沢公民館	441	491	932
		緑ヶ丘担手センター	144	156	300
		前山部落会館	308	344	652
	黒沢	黒沢生活改善センター	27	25	52
		計	920	1,016	1,936
合計(12人)	15投票区		4,200	4,594	8,794

国保ってなに?

1 いざというときに備えた最大の相互扶助制度

国民健康保険は、わが国で約四、五〇〇万人の人が加入している最も大きな医療保障制度で、被保険者（国保加入者）がそれぞれの収入に応じた保険税を納め、病気やケガなどイザというときに備えた相互扶助制度です。

国保の被保険者は、職場の健康保険（健康保険組合、共済組合など）に加入している方を除いて、すべて国民健康保険（国保）に加入しなければなりません。

国保では家族一人ひとりがみんな被保険者です。

具体的には、自営業者、年金受給者などの無職者、農漁業従事者、商店などで働いている方、などが該当します。

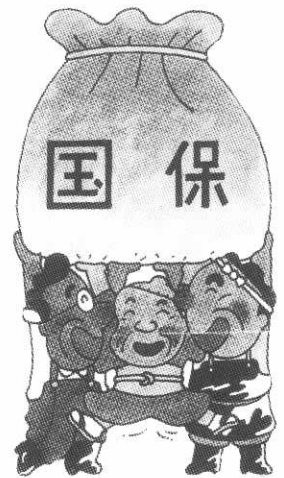
また、国保に加入するとき、やめるときは、十四日以内に役場の窓口で必ず手続きをしてください。

2 保険証は各種の保険給付を受けるときの証明書。とり扱いにはくれぐれもご用心

さて、国保に入ると一世帯につき一枚ずつ保険証が交付されますが、これは医療を受けたり、助産費や葬祭費など各種の保険給付を受けるとき証明書となりますので、大切に取扱いしてください。

保険証を受けとったら、氏名、年齢などにまちがいがなければ、まず確かめると同時に次のように保険証を使うことだけはおやめください。

- 病院にあげけつばなしにする（紛失事故のもと）
- 他人に貸したり借りたりする（悪質な行為として処罰されます）
- コピーしたものを提出する（使用できません）



3 医療費と保険税 “保険税のアップをふせぐには”

国保保険税は医療費の増加に比例して、いやおうなく引き上げざるを得なくなっています。被保険者のみなさんが健康づくりなど、それなりが健康な努力で医療費の増加を抑えることができ、ひいては保険税の引き上げストップにもつながるのです。

医療費が増加しなければ、

4 助け合う心が支える みんなの “国保”

病気やケガで病院に行ったとき、みなさんはまず窓口で保険証を提出し、治療の済んだあとで医療費を支払います。これはあくまで治療に要した総医療費の3割であつて、残りの7割は国保加入者や国保が共同負担しているわけです。

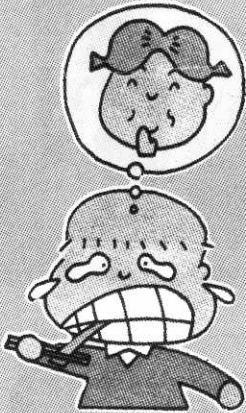
5 今年の保険税納付書は、十八日ごろお手元に！

平成二年度の納付書は十八日ごろみなさんに配付になります。納付は六期に分けて七月から一月まで（十二月除く）各月末日が納期限となっています。

保険税も引き上げなくともすむわけです。そのためには、病気になる健康なからだをつくることをはじめとして、ハシゴ受診をやめること、休日夜間の受診から時間内への受診にする、健診の積極的参加など、被保険者の皆さんの地道な日々の努力と医療費の大切さを理解することが基本となります。

たとえば、もしあなたが病院の窓口で三、〇〇〇円支払ったとすると、かかった医療費は一〇、〇〇〇円（国保から支払われる額は七、〇〇〇円）です。この点をよく自覚して医療費を大切に使わないと、ひいてはみなさんの保険税を値上げして不足を補うことにもなりかねません。

子供にかたいたいものを食べさせていますか



最近、子供の歯並びが悪くなっているのをご存知ですか。ひき肉料理や口当りのよいスナック菓子など、柔らかい食べ物が好まれるようになって、あごが発達しなくなり、歯の生えるスペースが十分にとれない子供が多くなっているのです。歯並びの異常は虫歯のもと、歯ごたえのあるかたい食品も与えるようにこころがけましょう。

問い合わせ先
鷹巣町役場国保係
☎ 62-1111
内線 132、133まで

アメリカシロ退治は 今がチャンス!!

アメリカシロヒトリとは、白い小さな「ガ」で戦後、アメリカから来た害虫です。

この幼虫(毛虫)は、プラタナス、サクラ、カキ、ウメなどの葉を食い荒します。発生時期は年二回で、一回目は五月下旬から六月上旬に卵をうみ、六月下旬から幼虫(これが害を与える)になります。二回目は九月上旬から発生し、十月にサナギになり越冬します。

防除するには

幼虫は小さい時に「巢あみ」を作りかたまって生活してお



防除は町内単位で行いましょう

りませんが、大きくなると巣から離れて散らばります。したがって虫が巣にかたまっている時に巣のついている枝を切り取り、踏みつぶすか焼却すると手軽に防除できますので早く見つけ、早く防ぐことが大切です。

木が高く巣がとれない場合は、次の薬剤を散布して防ぎます。DEP乳剤(デープレックス) 八〇〇倍液、MEP乳剤(スミチオン) 八〇〇倍液。家のまわりの庭木などの防除は自分でいい、地域ぐるみの共同作業の際はすすんで参加しましょう。

薬剤散布が終わったら、顔や手などについた薬剤を洗い流

し、うがいをしてください。

防除機の 貸出について

貸出について

▽防除機は軽トラ積載二台と手引式一台の三台です。
▽貸出は予約制ですので電話などで申し込みください。

▽トラックや防除機の燃料は町が負担しますが、薬剤は自己負担です。

▽操作は、取扱手順にしたがって適正にお願いします。故障やトラブルが生じた場合、必ず農林課に連絡し、指示を受けてください。

問い合わせ 農林課林務係 ☎ 六二一一一 内線二四六

権 人シリーズ

「人権の共存について」

人権モデル地区委員
島山清吾さん(七日市大畑)

人権モデル地区の委員として「人権の共存」について申しあげます。

人権とは人間として誰でも主張でき、人間にふさわしく生きる権利である。日本国憲法に私たち国民の基本的な人権を保障する規定があります。

私たちが生活して行くうえの、もろもろの自由と権利を保障しています。

しかし、その権利は自己本位のものも多く、他人の人権を顧みない傾向があるので、さまざまな人権問題が発生しているのです。

すべての人権は自分だけでなく、他のすべての人々の人権も尊重されなければなりません。

最近是对話不足が原因と思われる事件が多く見受けられ、社会連帯の心も失われつつあるため、お互いに「話しかけ合うこと」が人と人との社会的結びつきを強めることとなります。

人権共存に向けて、地域社会などあらゆる生活の場で気軽に言葉を交わし合う気風を醸成して、明るく住みよい町になることを期待しています。

第28回町民体育祭は

8月26日(日)に

鷹巣競技場で行われます

おしらせ

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

■母子健康手帳交付と第一回妊婦教室（必ず本人がおいでください）

▽日程 七月二日、十六日
▽受付時間 午後一時から一時三十分（終了時間三時）
▽妊婦教室内容 母子健康手帳の使い方、母乳栄養、映写むし歯予防 ▽持参品 印鑑歯ブラシ

第二回妊婦教室

▽日程 七月十二日 ▽時間

午前十時から三時まで
▽妊婦教室内容 講話、実技（妊婦体操）、映写など ▽持参品 母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食
※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

受講者募集 シルバー講座

LL財団（秋田県長寿社会振興団）では、六十歳以上の方を対象に「秋田LL大学園シルバー講座」を開設します。

この講座を通じて、仲間づくりの輪を広げるとともに、新しい知識を吸収し、新しい能力を見いだして、明るく楽しい日々を創造していくお手伝い입니다。

講座内容、日程などは次のとおりです。
▽7月18日・19日・20日 〓

らしと園芸・健康・スポーツ
▽7月23日 〓特別講座（講師 植松紀子氏・森ミドリ氏）
十月と来年の一月にも行います。

▽場所 〓中央公民館
▽時間 〓午前十時三十分から二時三十分までです。
▽受講申込 〓北秋田福祉事務所内高齢者社会活動推進員・河田五郎（六二―二二七五）

鷹巣橋は通行 止めに なります

鷹巣橋補修工事のため、次のとおり全面通行止めになりますのでご協力をお願いいたします。

▽期間 〓平成二年八月中旬から三年三月下旬迄の予定
▽問い合わせ先 〓北秋田土木事務所 道路課 道路第一係（六〇―一八六―六二―三一一一）

虫歯のない子



あけほの町・田中翔太ちゃん



脇 神・小熊由理ちゃん



舟見町・藤島由貴ちゃん

夜間当番医（夜間診療）日程表

（午後6時30分～9時）

7月	曜日	医療機関名	電話番号
1	日	藤原 医院	62-2882
2	月	鷹巣 病院	62-1210
3	火	佐々木産婦人科医院	63-0105
4	水	としま 医院	62-1267
5	木	盛岡 医院	62-1101
6	金	戸嶋産婦人科医院	62-1123
7	土	近藤 医院	62-1263
8	日	北秋中央病院	62-1455
9	月	奈良 医院	62-1146
10	火	藤原 医院	62-2882
11	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
12	木	佐々木産婦人科医院	63-0105
13	金	北秋中央病院	62-1455
14	土	としま 医院	62-1267
15	日	盛岡 医院	62-1101

（急患以外は受けません）

胃集団検診日程表

月日	曜	検診会場	対象地区
7.2	月	蟹沢 会館	蟹沢
3	火	上舟木生活改善センター	上舟木
4	水	明利又 会館	明利又、松沢
5	木	三ノ渡(富山佐一郎宅前)	黒森、与助岱、三ノ渡
6	金	中屋敷 会館	中屋敷
9	月	吉ヶ沢・深沢 会館	下舟木、吉ヶ沢、深沢、品類
10	火	葛黒林業センター	葛黒、大畑
11	水	綴子基幹集落センター	下町
12	木	大堤 会館	大堤
13	金	緑ヶ丘担い手センター	緑ヶ丘

○検診時間は午前6時～7時までです。
○検診前日の夕食後はお茶、おやつ等を取らないこと。
○問診票は記入のうえ当日受付へ提出願います。
○検診料は700円です。
○国民健康保険加入者については、個人負担を補助しますので必ず、国民健康保険証を持参して下さい。

公民館講座スタート 13講座360人が学ぶ



野草観察講座

新会員四三人、公民館講座では一番の大世帯で講師の阿部達雄先生はうれしい悲鳴というところです。

これとは別にこれまでの講座修了者が中心となり、「鷹巣町野草を観察する会」が誕生。現在二八人で四季を通じた多彩な観察計画で活動しています。

公民館講座の野草観察講座は六月十九日（火）鉢巻山湿原と寒沢キャンプ場周辺の観察からスタートしました。講師の手づくりのテキストの一

部を紹介しします。

寒沢キャンプ場近くの林

（山奥の明るい林）

ここまで来ると山奥へ来たという感じがする。

途中白い背の高い花が見え、たがセリ科のオオハナウドである。似た種類にエゾノヨロイクサ、エゾニユウ、アマニユウがある。一番早く咲くのがオオハナウドで他は八月に咲く。茎を切ってみるとエゾニユウだけ中がつまっている。他は中空である。エゾニユウをさく・えんによう、といつて泉南の人はよく食べる。（後略）

参加者は、春の緑を満喫し若返ったとのことでした。

野草観察講座の今後の学習計画は、七月〓秋田駒ヶ岳の高山植物、八月〓小又風穴付近の植物と鞍山、九月〓慶祝公園・七座山原生林、十月〓藤里峡の植物が予定されています。

植物の覚え方について阿部先生は、人が人をおぼえていく過程にたとえて「全く知らない町に住むことになったとします。最初の日は誰が誰やらわかりません。日がたつてくると、食堂のおばさん、スーパーの店員の顔がわかってきます。数年たつと、アツこの顔はあそこの家の顔だ」とわかってきます。やがて十年もたつと、この顔は——あそこのマキの顔だな——と、そこまでわかってきます。毎日見る顔でも、その日その日の気分を察するまでになります。植物を知り親しくなるためには、回数多く会うことが一番大事なことでしょう」と話しています。

また「日本植物五千三百種の二割が絶滅の危機にあるという肌寒い現状から、当講座が植物保護理解へつながるように。」と願っておられました。

ふるさと人物伝

河田 孝一

（耕花）

一九〇二—一九七九

河田耕花著「北湖丹頂」という歌集がある。旧鷹巣町の大地主「河与」の九代目孝一が七十歳の古稀をむかえた昭和四十七年に子どもたちがお祝いに出版した父の歌集で、「北の湖に丹頂も訪うとききしより阿寒の湖を恋う心増す」から出た書名である。

孝一は明治三十五年、鷹巣町元町十三・河田与惣左エ門の長男に生れる。河田家の宗家で祖父与惣兵衛の代に蓄財大地主になる。父与惣左エ門は貴族院議員や



町長をつとめ、社会的に活躍するが、書画骨董を好み、俳号丹楓、花柳界に浮名を流し、風流人として豪華を極めたので、俗に「大納言」といわれた。

孝一は秋田中学（現秋田高）に進むが体が弱く三年で郷里に帰る。成人後は家業の傍ら、農業会長、町会議員など町の要職を勤め、特に戦時中は大政翼賛会壮年団長として活躍。戦後も町会議員をつとめる。

彼の短歌は六十歳を過ぎからであるが、父からの素質と、若い頃から続けた謡曲の影響もあり格調が高く中央歌壇で評価されとりあげられている。

〇解き難き謎を秘むるか野の末のぜんまいは立つ疑問符の如 「林間」特選
〇阿仁の奥露熊の岨に撃たれたる雉を捲れば死の鳥の冷え

「日経歌壇」宮柁二選
彼は鷹巣短歌会々員であった。昭和五十四年没、寂孝院阿能耕花居士、七十七歳（歌集、成田総一郎、佐藤恒治、次男誠二談）文長崎久



「事故防止は家庭から」

町交通安全母の会代議員総会が6月19日に交流センターで開かれ、今年度の事業計画や予算などを決めました。会では毎年、新入学児童に黄色の鈴を贈ったり、毎月5日に街頭指導するなど地道な活動を続けています。夏場を控え、例年重大事故が発生していることから「事故防止は家庭から」を合い言葉に、安全運動を展開いたします。

今年のツユ入りは例年と同じ6月15日となりましたが、ツユの合い間をぬってドロオイとイネミズゾウムシの薬剤散布が真最中です。このドロオイ、そのままにすると葉の養分を全部吸ってしまうため、田んぼが白く変色するほど猛威をふるいます。農家では朝夕の風が静まった頃を見計り、一斉に防除する光景が見られました。

防除作業真最中



青春の汗と涙がいっぱい

6月9日から12日まで県高校総体の女子バレーが、鷹巣体育館で行われ38チームが熱戦を展開しました。どのチームも、この日を目ざし猛練習を積んできただけにシーズンゲームの連続。また、カラフルなユニフォームはコートに花が咲いたようです。決勝は、能代北と聖霊との対戦となり、2-0で聖霊が初優勝を飾りました。

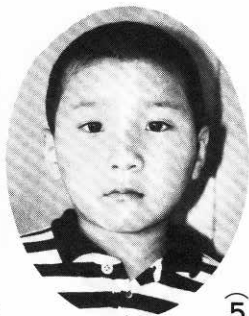
6月16日「第15回交通安全こども自転車大会」が分館で開催され5校、6チームが参加しました。

競技を通じて事故防止を図ろうと行われているもので、選手たちは筆記と実技のテキストに挑戦。実技では信号機や踏切りの安全確認など、基本動作を中心に採点。結果は、個人で1位から7位まで占めた竜森小が、堂々の7連覇に輝きました。

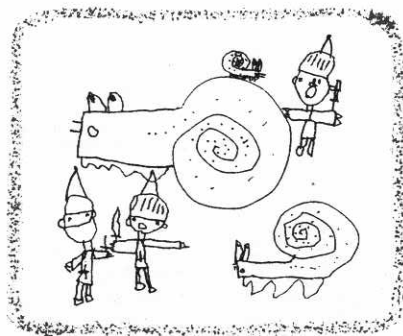
つよいぞ竜森小!!

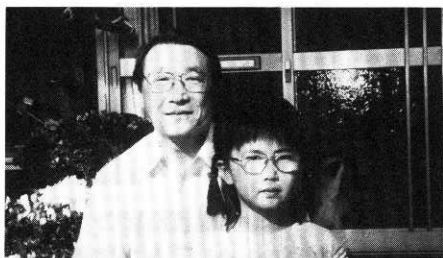


の広場



北幼稚園
はたけやま しんさくちゃん
(5歳)





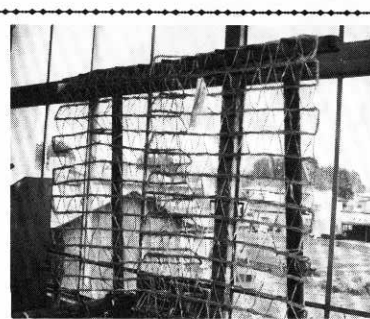
東小学校2年 高橋 怜子さん
七郎さん(72歳)

わたしはおじいさんやおばあさんから、小さかったころ

小さいときの話

おじいさん おばあさん から聞いたお話

お話をききました。
おじいさんたちの子どもころには、テレビやラジオやしんぶんもなくて、おとなはまいにちはたらいでねるだけのせいかつだったそうです。それでもみんなびんぼうで、子どもあそびばかりいられなかつたらしいです。
子どもは、学校からかえると、赤ちゃんのおもちゃや水くみをしました。水道なんかないから、いどからくんできかめにいれます。赤ちゃんをおんぶして学校へ来る人もいたそうです。びっくりしてしまいました。わたしはじぶん



養蚕のマブシ(簇)

まゆを作らせる蚕のすだれ
養蚕はかいこを卵から飼養してまゆをとることで、まゆからとった絹糸で織物を作った。マブシは藁などを束ねて作り、よく成長した蚕を移し入れてまゆを作らせるための、蚕のすだれである。
(松葉町・佐藤 富雄さん)

わたしの自慢

豊年太鼓を熱演

坊沢青年会長・佐藤宏志さん(25歳)

私たち坊沢青年会は現在会員十人で活動しています。活動内容は、春に坊沢地区の祭典での舞踊発表で始まります。これは毎春恒例となっております。特に今年は「太鼓をたたいてみよう」という事になり、町から道具を借り受け、わらび座の方のご指導により、「豊年太鼓」なるものを発表しました。この太鼓は、石川県の雨ごいの太鼓であります。打ち手の熱演が天に届

いたのか、夜にはバケツをひっくりかえしたような雨になりました。
また、夏にはビアパーティー、冬には地区の神社にて年越しソバを振舞うなど、年間を通して活発に活動しております。

しかし、最近では会員の平均年齢が上がり、適齢期に入つたためか、会を離れて行く人が増え、若い会員の不足に頭を悩ませています。今は、若者個人個人で楽しめる事、ドライブ、音楽、スポーツ等いろいろあるありますが、地区の横のつながりも今の時代だからこそ必要だと思えます。

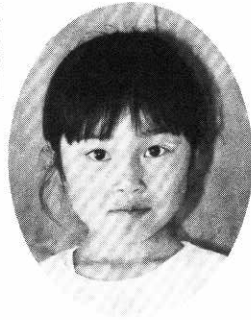


坊沢地区の若者の皆さん、町で一番ホットでトレンドイーな坊沢青年会へぜひ一度遊びに来てください。掛け値なしで、楽しめる事を保証します!!



北幼稚園
やまうち

えりちゃん
(5歳)



みんな

のこともしつかりできないのに、たいへんだなあと思いましたが、学校では田うえ休みがあったので、よそのいえにも手つだいにいったそうです。

おじいさんのいちばんつらかったしごとは、あつい夏の日のだいずばたけのくさむしりでした。おじいさんは、学校からかえるとくさとりにいって、夕がたカッコウがなくとやつかえれるので、いまでもカッコウがなくと子どもころを思い出すといいました。むかしの子どもたちは、おとなのやくにたつていたんだなあと思いました。たのしいことはなかったのかなあとおもったら、おてだ

まやまりつき、うまのり、冬はばそりになん人ものつてさかをおりるあそびなんかもして、たのしかったそうです。おもちゃもなかったけれど、わたしたちよりたのしかったんじゃないかなあ。

おじいさんたちは、いまの子どもたちはいそがしくってかわいそうだと言います。わたしもときどき、べんき

ようがたくさんあつてたいへんだなあと思うこともあるけれど、おじいさんたちにまけずに、いえのお手つだいをしたり、べんきようをしたりして、がんばります。

#

わが家のアイドル

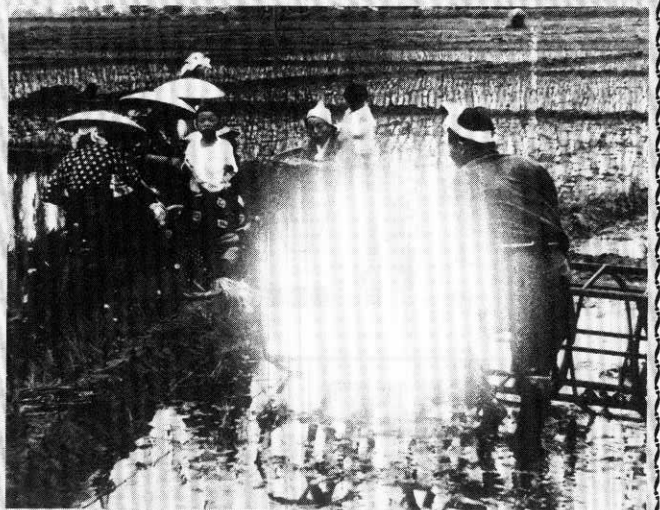


だいすけ
畠山 大将ちゃん(昭和63年10月7日生)

智・小百合さんの長男 … 三ノ渡

なにごとに先頭になってガンバル人になつてほしいとパパがつけました。(お母さん)

昭和30年代まで続いた農村の典型的な田植え光景である。当時は6月に入ってから苗を取り、月末までかかったものである。一家総出で子供は「コニヤウチ」と称し、苗を投げる大事な役目をはたした。現在は土・日の2日もあれば全部植えてしまうようになった。



たかのすの昔

あしらせ



一線美術会運営委員 九島素二さん

七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十一日と二十七日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「お酒と肝臓」について行います。

◇ **リハビリ学級**は十八日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

◇ **四力月児健康診査、七力月児健康相談と離乳食指導**は三

十一日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四力月児健診 平成二年三月生まれ、受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七力月児健康相談と離乳食指導 平成元年十二月生まれ、受付時間は午前九時三十分から十時までです。

場所が中央公民館ホールです。

◇ **二歳児歯科健康診査**は二十日です。

対象は昭和六十三年四月、五月生まれのお子さんです。

受付時間は午後一時から一時二十分まで、歯ブラシ、バスタオルをお持ちください。

◇ 場所は中央公民館ホールです。

三歳児健康診査は四日です。対象は昭和六十二年五月、六月生まれのお子さんです。

受付時間は午後一時から一時二十分までです。

◇ 場所は鷹巣保健所です。

◇ **育児相談**は二十日です。子供の健康、発達の不安、アトピー性皮膚炎で悩む母親を対象に行います。

受付時間は午前九時三十分から十時までです。

◇ 場所は中央公民館保健相談室です。

献血にご協力してください

献血車が次の日程で巡回します。献血は気軽にできるボランティア。血液を待つ多くの患者さんのために、ご協力をお願いします。

献血された方には、血液のなかのコレステロール量など七項目について生化学検査を無料で行なっていますので、自分の健康チェックにもなります。

◇ **七月二日(月)**

▽鷹巣高校(午前十時十分～二時五十分) ▽北秋中央病院(午後三時～四時三十分)

善意

▽米沢屋(代表・米沢吉満)から愛のなるま募金として二万八千六百四円

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

◇ ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

◇ ご芳志に感謝いたします。

▽東横町 桜庭光一さんから亡母ミヤさんの香典返し

▽新舟見町 熊谷純一さんから亡父正三郎さんの香典返し

▽高村岱 小塚福治さんから亡母リツさんの香典返し

慶弔だより

6月1日～6月15日

■誕生おめでとうございます

齊藤 歩唯(秀一) 長女 太田 岩川 望美(壽) 長女 松葉町

固定資産税二期・保険税一期の納期限は七月三十一日です

納期限は七月三十一日です

おこやみ申しあげます

出川 シケ(79歳) 糠沢 熊谷正三郎(68歳) 新舟見町 近藤 睦雄(37歳) 中屋敷 間渕たつ子(38歳) 南田中 松尾 雄三(42歳) 大町 三浦 勝弘(49歳) 掛泥

河田 孝治(和弘) 二男 元町 野呂 千夏(高広) 長女 南鷹巣 日沼 将弥(公栄) 長男 南鷹巣 佐藤 大輔(順一郎) 長男 糠沢 九嶋 千穂(勝春) 二女 岩脇

■二人の前途を祝福いたします

(三浦 広成 新田中 高本 千津子 東京都 長崎 克美 大野尻 吉岡 益美 新田中 畠山 清美 三ノ渡 大沢 都々子 上小阿村 堀内 孝喜 昭和 笹木 久美子 田代町 佐々木 靖 新田中 長崎 由美子 住吉町 成田 徹 あげぼの町 成田 良子 相善 長崎 明彦 大野尻 佐々木 明美 花園町